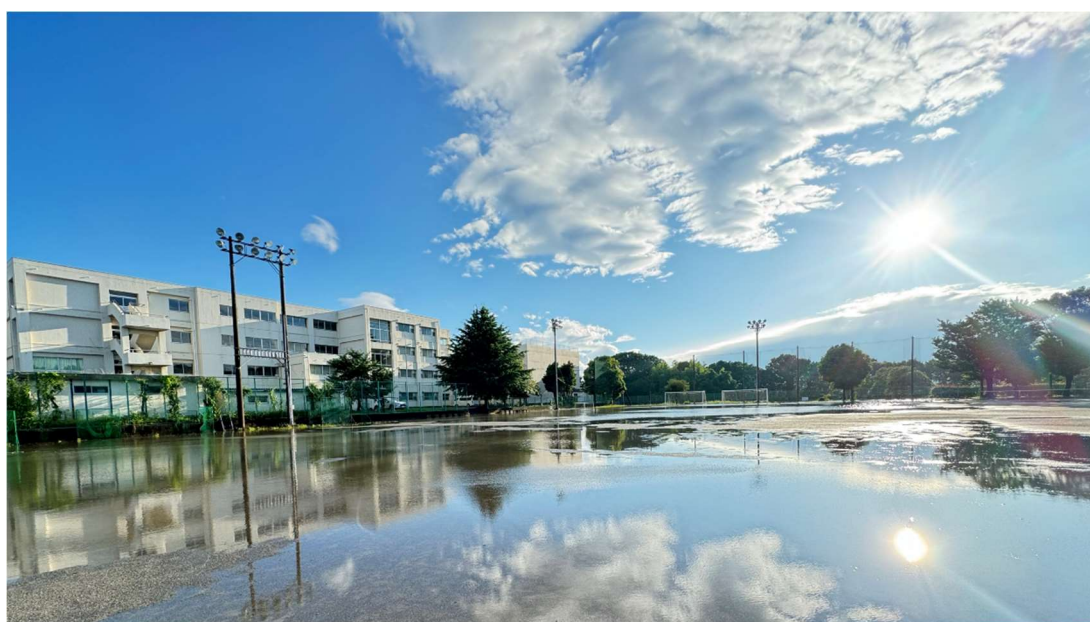


**令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和 6 年 12 月
海老名市立大谷中学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、数学、英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

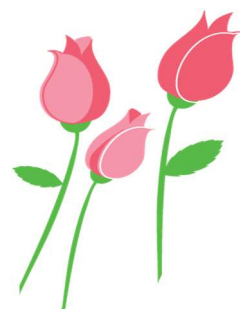
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 「読むこと」の分野において、文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することや目的に応じて必要な情報に着目して要約することに向上がみられ、説明的な文章を読む力がついていると言えます。
- 「書くこと」の分野において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることや文の成分や照応について理解することに向上がみられ、自分の考えが伝わるように表現を工夫して物語の一部分を書く力がついていると言えます。

◆課題のある点

- 「話すこと・聞くこと」における、話し合いの進め方の検討、考え方の形成、共有（話し合うこと）に課題がみられました。
- 「読むこと」における、文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることに課題がみられました。
- 記述式の問題形式について解答率が低く、思考・判断・表現の観点について不得手さがみられました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 対話やグループでの協議は、日常生活や社会生活の中で頻繁に行われます。「資料を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるように話すこと」や「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること」等を、生徒が日常生活や他教科での話し合いに生かすことを意識できるように指導を行う必要があります。
- 説明的な文章を読む際には、文章の中心となる部分とそれを支える例示や引用などの付加的な部分の組み合わせを理解したり、事実と意見を述べた部分の構成を理解したりといった、文章の特徴を踏まえて読むことが大切です。そのため、文章を読んで理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする学習の際に、生徒一人一人の理解や解釈が適切であるかを検討する場面を設定し、必要に応じて修正したり更新したりする指導を工夫する必要があります。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「関数」の領域が優れていました。また、式とグラフの特徴を関連付けて理解することもできていました。グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する能力が身に付いていると言えます。
- 「図形」の領域が優れていました。特に、回転移動についての理解はできていました。また、筋道を立てて考え、証明できることから三角形の性質を理解していると言えます。
- 選択式や短答式の問題形式について解答率が高く、知識・技能の観点についてよく取り組むことができていました。

◆課題のある点

- 「数と式」の基礎的・基本的な計算技能の習得に課題がみられました。また、文字を用いた式で表すことに困難な点がみられました。
- 「データの活用」の領域では、複数の集団のデータの分布から、四分位数範囲を比較することに課題がみられました。
- 記述式の問題形式について解答率が低く、思考・判断・表現の観点について不得手さがみられました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 数学的な表現を用いた論理的思考力を発揮して物事の課題解決を図ることは日常生活においても重要なことです。基礎的・基本的な数を文字式に表す力をもう一度見直します。問題解決場面における考察の対象を明確に捉えることができるようにするために、文章を理解する力に焦点を当てながら授業を組み立て、課題に粘り強く取り組む力を育む必要があります。
- 物事を正確に判断するために複数の集団のデータの分布から、比較や読み取りなどの分析をすることは大切な力です。こうした力を育むために生徒同士の対話の場面を作り、相互理解が深まるような取り組みを行う必要があります。
- 数学的活動において、複数の解法を見い出しながら問題の本質にせまり、構造を理解することの見通しをもったり、振り返ったりする活動を通して、主体的に取り組めるようにする必要があります。

生徒質問紙

※「肯定的な回答」とは、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」との合計
※（ ）内は、該当する質問の全国の数値

学習について

◆本校のよかったところ

○問 29「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の問いでは、肯定的な回答が 81.3%(64.8%)を示しています。このことから、探究的な学習活動等の中で、自ら問いを立て、課題を見出し、これまでの学習経験をいかし、調べたり考えたりしたことを、他者を意識して伝えようとしていることがうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

○問 34「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の問いでは、肯定的な回答は 68.4%(77.9%)を示しています。このことから、子どもたちが、学習活動を客観的にふりかえり、「何を学び」「何ができるようになった」のかを理解できるようにするとともに、学んだ内容や学び方を、教科横断的に他の教科(領域)等の学習活動にいかし、学びを広げたり深めたりすることに課題があることがうかがえます。

生活について

◆本校のよかったところ

○問 16「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いでは肯定的な回答が 81.3%(83.8%)、問 18「友達関係に満足していますか」の問いでは肯定的な回答が 87.1%(90.1%)となり、全国と同等の比較的高い割合の回答水準を示しています。また、問 17「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」では肯定的な回答が 72.2%(76.2%)を示しています。これらの回答から、子どもたちは、学校生活において、望ましい人間関係を構築するとともに、多様な他者の思いや考えを受け入れ、尊重しあい、協働的な活動を通して、ともに学び育っていかうとする姿がうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

○問 11「将来の夢や目標を持っていますか」の問いでは、肯定的な回答は 57.4%(66.3%)を示しています。また、問9「自分にはよいところがあると思いますか」の問いでは、肯定的な回答は 75.5%(83.5%)を示しています。これらの回答からは、子どもたちの自尊感情や自己肯定感に課題があることがうかがえます。自分の思い描く理想に対して、現状をとらえ、課題に向き合い、達成に向けて不断の努力を繰り返すことを通して、達成感や成功体験を積み重ねていくことが望まれます。

今後の具体的な取組について

○既習事項を日常生活や学習活動にいかし、学びの基礎を築くとともに、身に付けた資質・能力を、さらに広げ深めていけるよう、教科横断的な学習や体験的・探究的な学びの場面を大切にします。

○学校行事等の多様な活動場面を通して、他者と協働的な活動を意識できるようにするとともに、自らが設定したゴールイメージに対して、前向きに取り組む姿勢を支え、成功体験を積み重ねていくことを通して、自己肯定感を高め、他者に対しても貢献できる自己有用感を育むようにします。

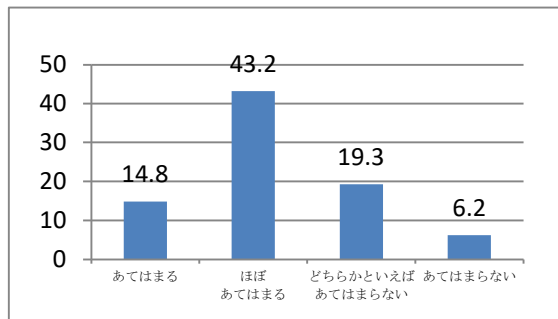
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1

地域や社会に目を向ける機会を持ちましょう。

子どもたちが、地域や社会の一員として、多くの大人と関わった経験は、たくさんの影響を受け、そこに、夢を抱き、希望をもって日々を過ごすことにつながります。そして、私たち大人（学校・家庭・地域）が、協働的に育むことは、地域に愛着をもち、貢献していこうとする態度を育てます。これらは、役割意識や自己有用感の向上に発展します。災害時等の助け合いにも生かされるでしょう。



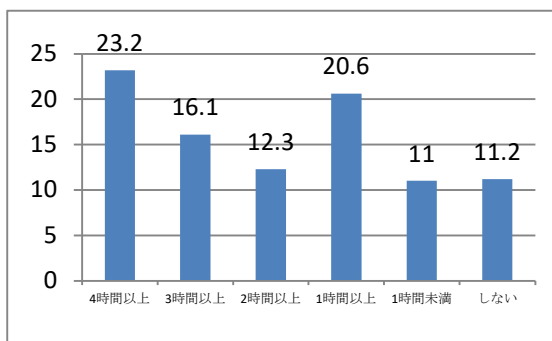
地域や社会をよくするために

何かしてみたいと思いますか

2

生活習慣を整えましょう。

論理的思考や合理的思考が身につくといわれているゲームではありますが、長時間の使用は、視力低下、運動能力低下、睡眠不足による昼夜逆転や倦怠感などの健康課題等、子どもたちの生活様式に影響を及ぼします。ゲームや動画視聴等のルールについて、お子さまと日常的に話し合ってください。

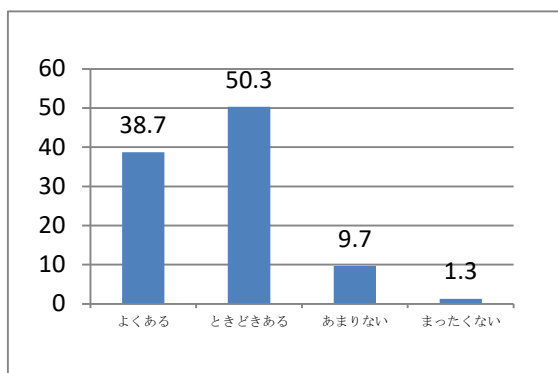


一日あたり、どれくらいゲームをしますか

3

笑顔を大切にしましょう。

最近、ウェルビーイング（Well-being）という言葉をよく耳にします。WHO では、「肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」としています。子どもたち1人ひとりの心と身体をささえ、笑顔あふれる毎日過ごす中で、子どもたちの幸福度を高め、活力ある日々を送ることができるようにしていきましょう。



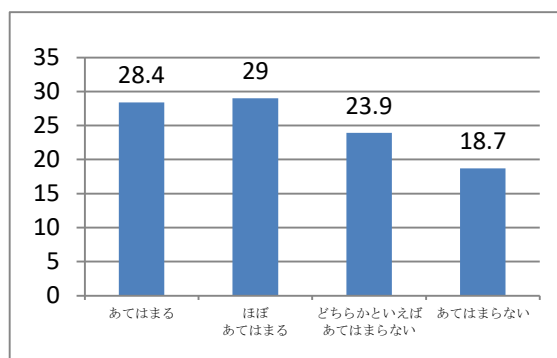
生活の中で、幸せな気持ちになる

ことはどれくらいありますか

4

未来を見据えましょう。

夢を語り合っていますか？ 夢を語ることは、進むべき進路をイメージすることにつながります。子どもたちは未来を生き、進むべき道を歩みます。今後、出会いの中で、夢や希望が変わることがあっても、夢や希望をもっていることで、前向きになり、目標を立て、実行に向けて努力することにつながります。



将来の夢や目標を持っていますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を継続します
- 子どもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919